

□■感染症情報(H29年第16週) □■□■□■□■□■□■□■□■□■□■
□■

●トピックス

◆感染性胃腸炎(ロタウイルス)の増加について

銚田保健所管内において、1定点あたり第15週及び第16週の報告はありません。

県では、1定点あたり第15週1.54(国0.78)、第16週0.85(国0.84)と先週よりも減少していますが、今年の同時期より高いため、注意が必要です。

管轄保健所別では、古河・竜ヶ崎・土浦保健所管内での報告数が高めです。

【感染性胃腸炎について(ロタウイルス等)】

http://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/other/documents/13-4_1.pdf

◆インフルエンザ流行情報について

銚田保健所管内において、1定点あたり第15週3.20、第16週5.00と先週より増加し、県内の保健所で2番目の高い値となっています。

県では、1定点あたり第15週2.93(国3.98)、第16週3.27(国4.06)と県・全国ともに先週に比べて若干増加しています。

<県衛生研究所におけるインフルエンザウイルス検出件数>

期 間：H28年9月5日からH29年4月23日まで

検 体 数：189検体

検体内訳 : AH3 (A 香港型) 149 検体 [79.84%]
AH1pdm09 12 検体 [6.35%]
B 型 28 検体 [14.81%]

【昨シーズン】

AH3 (A 香港型) : 16.4%
AH1pdm09 : 40.0%
B 型 : 43.6%

【インフルエンザ流行情報 (第 23 報)】

<http://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/influenza/documents/2016sflureport23.pdf>

◆県内における腸チフス発生について

県内において 6 年ぶりに腸チフスの報告がありました。

【腸チフスについて】

感染すると 7~14 日後に発熱を伴って発症し、比較的徐脈、バラ疹、脾腫、下痢などの症状を呈し、腸出血、腸穿孔を起こすこともあります。

重症例では、意識障害や難聴が起きることもあります。

【予防のポイント】

- ・食べ物・水に注意する。
生水、氷、生肉、生野菜、カットフルーツ等の喫食を避け、十分加熱調理してあるものを食べる。
- ・手洗いの徹底
食事の前やトイレの後には石けんと流水で十分に手を洗う。

【危険のある地域】

腸チフス、パラチフスは世界中でみられる感染症ですが、特に、南アジア、東南アジア、アフリカ、カリブ海、中央及び南アメリカが危険のある地域です。

●感染症サーベイランス情報

【県内の保健所別報告数】

(第16週 4月17日～4月23日)
数累計)

(2017年第16週までの報告

結核 10件 (鉾田0件, 他10件) 件	県 153件, 全国 6493
腸管出血性大腸菌感染症 1件 (ひたちなか)	県 4件, 全国 264件
腸チフス 1件 (つくば)	県 1件, 全国 11件
アメーバ赤痢 1件 (つくば)	県 5件, 全国 325件
急性脳炎 1件 (ひたちなか)	県 11件, 全国 240件
クロイツフェルト ・ヤコブ病 1件 (筑西)	県 3件, 全国 53件
侵襲性肺炎球菌感染症 1件 (土浦)	県 24件, 全国 1207件

★ 当メールの内容についてのお問い合わせは下記までお願いします。

茨城県鉾田保健所 健康指導課

E-Mail : hokoho03@pref.ibaraki.lg.jp [TEL:0291-33-2158](tel:0291-33-2158)

*****鹿行地域感染等対策ネットワーク

【事務局】

土浦協同病院		
なめがた地域医療センター		茨城県鉾田保健所
〒311-3516		〒311-1517
行方市井上藤井 98-8		鉾田市鉾田 1367-3
TEL:0299-56-0600		TEL:0291-33-2158
FAX:0299-374111		FAX:0291-33-3136
